



れんけいと支援



富山市今泉北部町2-1 / Tel: 076 (422) 1112 (代) <http://www.tch.toyama.toyama.jp/> / 発行日 2012年1月

地域の医療・保健・介護・福祉の方とともに、皆様の健康をお守りします

「医療相談の紹介」



地域医療部
医療相談室部長 児玉 浩一

地域の医療機関の皆様との連携が円滑に行なえるようにとの目的で、平成16年、当院に地域医療部が開設されました。平成19年には連携機能をさらに充実させるため、それまであった地域医療連携室と医療相談室を併せた“ふれあい地域医療センター”という名称で新たに業務を行なうことになりました。今回、当院における医療相談の現状について、ご紹介させていただきます。

医療相談室では医療ソーシャルワーカーが中心となり、経済的・社会的・心理的問題を抱えた患者さんに対する支援や転院・退院後の在宅療養が円滑に行なわれるよう支援しています。具体的には、各種の公費負担や医療福祉制度に関する相談を受け、制度の利用ができるよう支援を行なっています。退院後の生活に不安がある患者さんには、安心して自宅で生活できるよう入院中に退院調整を行っており、また転院が必要な患者さんについても円滑に行えるよう調整をしています。最近では、経済的に困窮している方や身寄りのない方の相談も少なくありません。個々の相談に応じて、関係機関の皆様と連携を図りながら、問題の解決に努めていきたいと思えます。

がんに関する相談は平成21年10月に新設された「がん・なんでも相談室」が中心となって対応しています。一般的ながんの病態・治療法・予防・早期発見に関する情報の提供、当院や他の医療機関の診療体制に関する情報提供、緩和ケア・療養環境や介護・経済的な問題や福祉に関する相談などが数多く寄せられています。ゆったりとした雰囲気の中で、ゆっくり時間をかけて相談に応じるようにしています。

患者さんやご家族が安心して療養できることを目標に掲げ、地域医療機関の先生方、関係機関の皆様とより密な連携をはかれるようスタッフ一同努力してまいります。今後ともどうぞよろしくお願い致します。

Contents

医療相談の紹介	1
研修・講演・勉強会のご案内	2.3
1月の地域連携・開放型病床症例検討会報告	3
診療所・病院・施設訪問	4
エキスパートナース申請者・更新者の認定式	5
クリニカルパス委員会活動報告及び今後の期待	5
「腹膜透析」学習会を開催して	6
感染対策チーム (ICT) の活動・取り組みについて	6
研修医のひとりごと	7
富山市民病院 地域連携開放型病床講演会・懇親会のご案内	7
医師不在のお知らせ	7
病棟、手術室、HCU・ICUの紹介	8
編集後記	8

1. 地域連携・開放型病床症例検討会

1月

日時：2月14日(火) 19:00~20:15 場所：当院3階 講堂



①ミニレクチャー：「当科における頸椎・頸髄疾患に対する治療戦略」

脳神経外科 宮森 正郎

頸椎・頸髄疾患は、加齢に伴ういわゆる変性疾患が大部分を占める。しかし、外傷、腫瘍性疾患、上位頸椎疾患も少なからず認められ、これらの疾患に対しては、それぞれ固有の知識や治療技術が必要となる。高齢化社会の進展に伴い、頸椎・頸髄疾患も増加傾向にあり、日常臨床においてよく遭遇する疾患といっていよう。しかし、中枢神経である頸髄や末梢神経ではあるが神経根などは、その性質上きわめて傷つきやすく、かつ、一度損傷を受ければ再生しない以上安易な外科的治療は、厳に慎むべきである。診療に関わる医師は、頸椎・頸髄疾患を正しく

理解していることが、まず求められる。適切な時期に適切な治療を行うことこそ肝要で、これらの条件を満たせば、劇的な症状の改善も実現され、患者の満足度も高い。さらに、頸椎・頸髄疾患は、頭蓋内疾患に比べると、緊急度の高い疾患の割合は少なく、医師のライフ・ワークバランスも保たれる。従って、外科医の寿命も長くなるであろう。顕微鏡下手術をルーチンとするactive neurosurgeonにとり、腰椎疾患も含めた脊椎・脊髄疾患こそ今後益々参入すべき領域であろう。

②症例検討

1) 「異常行動にて発症した若年女性の脳炎の一例」

神経内科 福田 華子、森永 章義

2) 「亜急性期に手術を行った壊疽性胆嚢炎の一例」

紹介医：山本内科医院 山本 英樹先生 外科 寺井 志郎

3月

日時：3月13日(火) 19:00~20:15 場所：当院3階 講堂

ミニレクチャー：「前立腺癌の診断と治療」

泌尿器科 児玉 浩一

2. 内科CPC



日時：2月14日(火) 17:30~

場所：医局カンファレンス室

3. 糖尿病研究会定例学習会



日時：2月2日(木) 17:30~18:30

場所：集団指導室

○テーマ 「症例検討会」

○講師

4. 院内医療機器研修会



日時：2月7日(火) 17:45~18:30

場所：集団指導室

○テーマ 「インスピロンの正しい使用法を学ぼう！」

～内容～ ・動作の仕組みと役割

・正しい使用方法と注意点

・使用時の設定ポイント・・・など

○講師 コヴィディエンジャパン

5. 緩和医療委員会学習会



日時：2月14日(火) 18:00~19:00

場所：集団指導室

○テーマ 「終末期患者における口腔ケア」

○講師 ターミナルケアエキスパートナース

中村 敦子

6. 乳腺エコー学習会



(術後症例検討)

日時：2月21日(火) 16:00~

場所：病理検査室

○対象 医師、臨床検査技師、放射線技師、他

*前月手術された症例をエコー中心に検討します。

*日時が変更になる場合がありますので、参加希望の方は事前にご連絡ください。

7. 褥瘡対策学習会



日時：2月24日（金）17：45～

場所：集団指導室

- テーマ 「褥瘡予防用具とポジショニング」
- 講師 看護師 大島 倫子

9. NST学習会



日時：2月27日（月）18：00～19：00

場所：講堂

- テーマ 「栄養療法のエビデンス」
- 講師 公立松任石川病院
外科医長 石井 要先生



病院ボランティア 篠崎 佳子

10. 看護研修



《衛星研修S-QUE Eナース》

日時：2月1日（水）17：40～18：50

場所：講堂

- テーマ 「フィジカルアセスメントの基本技術の理解」 基礎

日時：2月15日（水）17：40～18：50

場所：講堂

- テーマ 「事例から学ぶフィジカルアセスメントの実際」 応用

《衛星研修S-QUE 新医療看護連携》

日時：2月22日（水）17：40～19：00

場所：講堂

- テーマ Vol.18 医療安全に関する研修
「医療安全管理研修」

研修の横に対象となる職種マークをつけました。お気軽にお越し下さい。



《連載企画》 診療所・病院・施設訪問 ⑧ くまのクリニック

今回は「くまのクリニック」を訪問させていただきました。

名 称	くまのクリニック
住 所	富山県富山市悪王寺41-1
医 師	徳舛 康良 先生
標 榜 科	内科（アレルギー科・呼吸器科・消化器科・循環器科・リハビリテーション科）
診察日・時間	月・火・水・木・金曜日の午前 8：30～12：30 月・火・木・金曜日の午後は15：00～19：00 土曜日は9：00～14：00 水曜午後・日曜・祝祭日 休診
施設区分	無床診療所

訪問記



くまのクリニック前景



徳舛院長先生



徳舛先生とスタッフの皆さん

新年から雪を降らせた寒気も緩み、道に雪のない日が続いています。1月17日（火）、午前の診療を終えたばかりのくまのクリニックを訪問させていただきました。

くまのクリニックは、平成22年9月に開業され、スタッフは徳舛先生を含め6名とのことです。院長の徳舛 康良先生は内科を標榜され、アレルギー科、呼吸器科、消化器科、循環器科、リハビリテーション科など、さらに小児の診療もなさっておられます。ご出身は富山市、開業されている熊野校区近郊とお聞きしました。「地域に溶け込んだ医療をしたい」と在宅にいらっしゃる患者さんの訪問診療や往診も行っておられ、午後は15時から19時までの診療をしておられます。また小学校や中学校の学校医も引き受けておられるとのことでした。また音楽が趣味という徳舛先生は「クラシックからロックまで幅広く聴いています。」とおっしゃっておられました。

薄茶色の外壁とレンガ調の屋根が潇洒な平屋建てのくまのクリニックは、玄関スロープが設置されています。入口の扉は患者さんが軽く取っ手を引くだけで開く自動ドアになっており、また玄関と待ち合いへの入り口のドアも自動であり、車椅子などでこられる患者さんへの細かな優しさや心遣いがうかがえました。待合室は天井も高く、広いスペースには天窓や窓から冬の暖かく優しい日差しがたくさん入りとても明るく印象的でした。キッズコーナーも設置され、掲示板には地域のイベントや診療や治療に関することなどが掲示してあり、地域に根ざした診療所として患者さんへ情報提供の発信をされていることがうかがえました。

当院との地域連携についてのご意見では、いつも患者さんの診療予約や急患の対応などで対応いただき助かっているとおっしゃっていただきました。また先生には当院の開放型病床への登録をしていただいています。

今回の訪問に徳舛先生やスタッフのみなさんに笑顔で迎えていただき、本当にありがとうございました。寒い季節に心温かな気持ちで岐路につきました。

待合室



エキスパートナース申請者・更新者の認定式

富山市民病院では平成10年より病院独自のエキスパートナースを育成しています。専門分野において卓越した看護実践能力を有することが認められた人が、認定基準に沿って決定されます。

看護部専門看護師制度委員会では、エキスパートナースの今年度の募集を平成23年3月より2ヶ月間かけ、4名の申請者がありました。申請者は規定の書類を提出、その後教育研修を受講し課題レポートを提出していただきます。今年度は12月21日に認定委員会が開催され、申請者4名、更新者10名の書類審査と個人の評価が行われた結果、全員認定されました。

その後、平成24年1月10日(火)に認定式が行われ、今年度は新しい分野の脳卒中リハビリテーション看護が誕生しました。今回で15分野54名のエキスパートナースが誕生し、専門分野で活躍することになります。また、エキスパートナースの中から認定看護師の研修を受講させていただいており、現在認定看護師は8名、2名は認定試験の結果待ちです。

今後委員会では、エキスパートナースの育成とその質を保持するための教育に力を注ぎ、患者にとってよりよい看護を提供していきたいと考えています。



クリニカルパス委員会活動報告及び今後の期待

クリニカルパス委員 山本 美千代

クリニカルパス委員会では、院内におけるパスの理解度を上げてPDCA（Plan計画・Do実施・実行・Check点検・評価・Act処置・改善）サイクルをまわすことにより、医療の質の向上を目的として活動しています。当院でのパスの歴史を振り返ると、平成12年4月委員会が発足、パス導入の当初目的は、①チーム医療の推進 ②病院全体での一斉導入 ③全職種の参加・早急にパスを院内で稼働させる の3本を基本方針とし活動を開始、同年12月、第1回クリニカルパス大会(以後パス大会とする)を開催、現在まで55回実施しています。パス大会では、パスに関するレクチャーを行い理解を深め、またパス大会で発表された中から選考し平成23年度は、①脳卒中地域連携促進パス ②小児肺炎パス・急性気管支炎パスの見直しについて ③肺炎パス使用向上に向けての取り組み ④前立腺全摘出術クリニカルパス作成・使用後の評価と今後の課題についてなどを富山県クリニカルパス研究会・日本医療マネジメント学会・日本クリニカル学会等の各学会で発表を行いました。これらの学会発表や勉強会に参加することで、見直しや修正すべきことなどに気づき互いの研究について議論を深め、クリニカルパスが及ぼす医療の質向上について考える機会となり、当院での問題や今後の課題を見出すことが出来ました。

当院は、大腿骨・脳卒中・CKD・5大がん等のパスを使用して地域医療支援病院の機能の一助にもなっています。地域における医療提供体制を考え、患者さんや家族の方に満足していただけるためにスタッフ全員で各部署でのパスの推進と啓蒙及びパスの活用を高め支援していきたいと考えます。



「腹膜透析」学習会を開催して

12月9日(金)という暮れおしせまる中、「腹膜透析」学習会を開催いたしました。

今回で、腹膜透析に関連した学習会は3回目になりましたが、外部からの参加者が少しずつ増えてきており興味を持って頂いていると感じました。参加者の方も看護師に限らず、管理者の方、ケアマネジャー、そしてかかりつけ医の先生の参加がありました。

腹膜透析の需要は透析患者様30万人の約3.2%と少ないですが、当院での導入は年々増えてきています。腹膜透析はセルフケアによる在宅治療であり、患者様、家族の支援も重要なため、私たち医療者のサポートの役割は大きいと考えます。そのための教育指導が十分行えるように、継続した学習機会をもっていきたいと思えます。次回の開催は未定ですがたくさんの参加をお待ちしております。



感染対策チーム (ICT) の活動・取り組みについて

感染対策チーム
感染管理認定看護師 安田 恵

当院では、感染対策委員会・看護部感染対策委員会・感染対策チーム・感染対策推進委員会の4つが連携して感染管理活動を行っており、感染対策チームは、感染対策を速やかに行うための実働部隊として活動を行っています。メンバーは、医師4名、臨床検査技師1名、薬剤師1名、看護師6名です。

活動内容は、感染症発生時の対応、ラウンド、ニュースの発行、サーベイランス、抗菌薬適正使用への取り組み、相談、研修（院外の方の参加も可能です）、マニュアル改訂、感染防止器材の検討・導入などです。

今年度始めた活動にニュースの発行があります。病院の全スタッフに感染管理に関する興味を持っていただきたいと思い、この活動を始めました。ニュースは、ICTニュース（1回/2月）と、ICT weekly news（1回/週）の2種類発行しています。ICTニュースは、最近の話題、院内の話題（マニュアルが改定されたなど）、薬剤部や検査部からの情報、知っておきたい感染用語、学習会のお知らせなどを掲載、ICT weekly newsは部署別の細菌検出数とICTのコメント（院内の感染情報）、最近の話題（世間の感染情報や話題）、微生物情報（微生物を勉強していない方も微生物に強くなる！？）を掲載しています。

全スタッフが感染管理に興味を持ち、実践していくことができるようになるために、まずはICTが楽しんで活動し、その楽しさを伝えていけたらと思っています。そして、当院だけではなく、連携病院にも研修会や出前講座などをとおして伝えていくことができたらうれしいなあと思っています。



病棟、手術室、HCU・ICU

の紹介



今月は 西病棟4階

西病棟4階は消化器外科・乳腺外科の病棟です。食道・胃・腸・肝臓・胆嚢・膵臓・乳房の疾患に対して、手術や術後の化学療法を行っています。病棟のスタッフは、泉院長をはじめ医師8名、看護師26名、看護助手4名で、忙しい日常でも人間関係が良く明るい病棟です。

看護スタッフの中には、がん化学療法看護認定看護師、乳がん看護認定看護師、リンパ浮腫上級セラピストがおり、病棟や看護外来で活躍しています。他のスタッフも、4つの疾患別グループに所属し、手術前・手術後・終末期まで、よりよい看護を提供させていただくため、毎月1回のチーム活動や学習会を行いスキルアップに努めています。

当病棟では、胃・大腸・乳房の手術を受けられた患者さまが、病院の主治医である専門医とかかりつけ医との連携した医療を受けることにより、安心して日常生活を送っていただくために「がん地域医療連携パス」が運用されています。医療の進歩でがんは慢性疾患とも言われる時代となり、在宅で過ごされる患者さまも多く、患者さまのQOLの向上のため、より一層地域との連携を大切にしたいと考えています。

今後も、手術や治療を目的に入院される患者さんに快適な環境で適切な医療を受けていただけるよう努めてまいります。

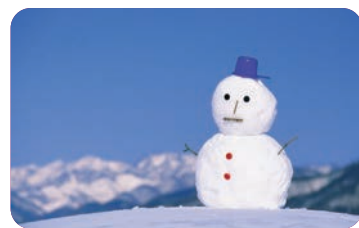


編集後記

昨年は未曾有の大災害により多くの方が心を痛めた年でした。本当の幸せとは普通の生活ができることであると強く感じました。被災された方々に、一日も早く平穏な日々が訪れますようお願いいたします。

ふれあい地域医療センターに着任し約10ヶ月となりますが、机の中の書類・パソコンの中・自分の頭の中の「整理・整頓」がまだまだできていない状態です。今年は苦手な整理・整頓ができ、しっかり情報を伝えることで地域との連携や質の向上を目指していきたいと思っています。そして富山市民病院の一窓口として、地域の医療機関の皆様との信頼関係を大切に、患者さまの視点に立った医療の提供ができるよう努力してまいります。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。



ふれあい地域医療センター 中松 己志子

「れんけいと支援」に関するお問い合わせは、ふれあい地域医療センターまでご連絡ください。送付を希望されない方はお申し出ください。

TEL 076 (422) 1114 FAX 076 (422) 1154

ホームページ <http://www.tch.toyama.toyama.jp/>

がん・なんでも相談室：メールアドレス shien@tch.toyama.toyama.jp